

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		乗用車販売店（経営者）	・消費税再増税前の入替え需要が発生する。
		遊園地（職員）	・今後もイベント実施などの集客、料金施策効果により、引き続き多くの来園客を期待する。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・客の間で当社のことが知られ始めているような感じを強く受ける。病院で「もう危ない」と言われている客が10件以上あり、これから葬儀の依頼や相談が増える。
		商店街（代表者）	・安定した天候により、年末贈答用商材が良い方向に向かっている。期待ができそうである。
		コンビニ（経営者）	・これから年末商戦が始まり、クリスマスやいろいろなイベントのなかで、店も活気付くのではないかと期待している。数字もある程度良くなっていくのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・前年が大雪だったことや地域的に、これからは自動車維持管理のための季節商材販売増が期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・期待感のみである。
		観光型ホテル（支配人）	・ここのところ若干ではあるが、客単価は上昇傾向である。
		観光型旅館（経営者）	・冬季の集客は、20年ほど大きく下落してきたが、ここ7年は底値で安定している。更に近年インパウンドが増加傾向にあり、冬季の需要は現在よりも良い方向を期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今後の予約は前月同様、格段良いわけではないが、好調に推移している。2か月連続で、悪天候、市長選挙と大きな外部要因でフリー客が鈍ったが、この先に大きな外部要因は見当たらないので、好調な予約状況とフリー利用客の増加が見込め、良い方向に行くともっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・10月末に市長選挙が終わった。これを機に法人の動きが良くなるともっている。
		旅行代理店（副支店長）	・北海道胆振東部地震や台風など災害が発生し、風評被害も出たが、復興に向けて国等から様々な企画や施策が出てきている。客の動きも活発になってきているので、下期は少し動きが出そうである。しかし、ホテルでストライキが発生しているハワイへの渡航減少が気にかかる。
		美容室（経営者）	・天候も安定してきたため、旅行、イベント等が多数あり、客に良い物を提案していけば、おのずと売上は上がる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費税再増税の話題が意外と盛り上がり、そのときになったら」という対応で、今のところ駆け込み需要の見込みは感じない。寒波などの要因がなければ、売上増には結び付かず、厳しい状況となる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・これ以上良くなる要素が見当たらない。
		百貨店（営業担当）	・客の買い方、雰囲気、様子はそれほど変わっていない。賃金が上がっているという実感もそれほどないようなので、現状が続くのではないかと。
		百貨店（売場担当）	・冬物衣料が前半苦戦した分を取り戻せば、まだ伸びしろはある。コートなどの重衣料は、来年秋の消費税再増税前の買換えを意識している人も多いと予測している。
		スーパー（経営者）	・年末に向けても消費者心理は上向かないのではないかと。
		スーパー（経営者）	・1月はスケートのイベントがあるので、まだ仕出しの注文はないがこの仕事をもらえれば、前年を超えられと、期待している。2～3月は例年イベントがなく、3月末には総会等でオードブル、アルコールの販売もあるが、もう少し仕事を確保したい。
		コンビニ（エリア担当）	・消費が冷え込んでいるものの、購買行動は同様ではない。価値ある商品、ニーズに合わせて商売していけば改善につながっていく。
	コンビニ（店長）	・来客数が大分減ってきている現状は、変わらない。ついで買いも厳しいので、3か月後も大して変わらない。	
	家電量販店（店長）	・今後も来客数の増加は見込めない。	
	乗用車販売店（経営者）	・年内は新型車発売の予定もなく、消費税再増税前の様子見が2月頃まで続き、販売は伸びないとみている。	
	一般レストラン（経営者）	・原油価格、物価の高騰が影響している。周りの客の今後に良い話がない。	
	スナック（経営者）	・今月が結構良かったので、このままの調子でいってほしい。この先の宴会の動きも今のところ良いので、大丈夫だろうとみている。	

	スナック（経営者）	・来月後半くらいから忘年会シーズンに入るが、今月の売上も非常に良くなかったので、この流れからいくと、それほど期待はできそうにない。また、「年々、忘年会の回数なども減っている」という話も聞く。頑張らなければいけない。	
	通信会社（経営者）	・12月に4K、8Kテレビ放送がスタートするが、PRも少なく、世間の関心がほとんどない。	
	設計事務所（経営者）	・年度未までに計画、実施案件が幾つも重なっているため、忙しくなる。	
	商店街（代表者）	・今の時期は毎年そうだが、ほとんど店頭売りはない。来春の新学期に向けた採寸などの仕事は忙しいが、売上にはつながっていない。	
	百貨店（店長）	・インバウンドのない地方百貨店は、非常に苦戦している。また、来年の消費税増税に対する心理的な悪影響が、これから出てくるのではないかと。	
	スーパー（経営者）	・消費税増税で客のマインドが下降する。高値だった野菜価格の相場は落ち着くとみている。	
	自動車備品販売店（経営者）	・ガソリン価格の値上げが節約志向を強くする。冬物商材の動きは、割安な予約品の出足が例年より早めである。	
	一般レストラン（経営者）	・業種によっては消費税増税前の駆け込み需要が出てくるだろうが、我々の業種が良くなる要因は見つからない。	
	都市型ホテル（支配人）	・近年、年末に向けて活気がなくなる。夜の繁華街も閑散としている。各種宴会の組数が減っているだけでなく、単価も下がっている。	
	タクシー運転手	・高齢者が病院や買物に行く以外は、夜に飲みに出る客が随分減ってきている。	
	住宅販売会社（従業員）	・退職社員の補充が困難で、人材確保のためには給与増額等が必要となる。そのため、人件費が上昇し、収益低下につながる。	
	×	スーパー（副店長）	・北国の冬場には必需品であるガソリンや灯油の価格が高騰しており、負担が生活に直結してしまう。また、消費税増税決定のニュースで、節約傾向が高まると予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・年が明けて春を待つばかりとなるので、本当に必要なら買物はするだろうが、新たに冬物を買う必要はない。春物の入荷は2か月ほど先になるため、商品が動かない。
	×	スナック（経営者）	・いつものことだが、良くなる要素が見つからない。努力はしているつもりだが、本当に大変な状態である。
企業 動向 関連 (甲信越)		食料品製造業（総務担当）	・繁忙期の冬を目前に控え、全社体制で生産販売を行うため、やや良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新規発注や試作が出ているので、若干良くなる。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・11月は数多くの展示会が開催される。また、12月のクリスマスシーズンに向けて小売店でも様々な企画を展開するので盛り上がりも期待できる。例年この2か月でかなりの売上を確保するので、期待している。
		食料品製造業（営業統括）	・国産ワインに対する需要はあるものの、農家の高齢化や高価格な生食用のぶどうへの切替え等により、生産量が減少している。10月30日にスタートした新商品基準への対応に、県内各ワイナリーは苦心している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・出張ワークショップ対応が増えているので、期待したい。
		金融業（調査担当）	・米中貿易問題の影響が懸念されるものの、製造業の受注は今後も高水準を維持し、全体でも緩やかな回復が続くと予想される。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・チラシ出稿量の減少に歯止めがかからない。媒体選択をする広告主も多いたろうが、宣伝費の節減も大きな要因だとみている。
		食料品製造業（製造担当）	・今後、一層、国際情勢が厳しくなり、原油コストも上がって製造コストにじかに影響してくる。とても利益を出せる状況にはならない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・材料費の値上げの影響等が出てきている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・1月以降の見通しが非常に悪い。
		建設業（経営者）	・冬季に入ると、受注件数は落ちてくる。人口減少もあり、全体的なパイは少なくなるとみている。
		×	出版・印刷・同関連産業（経営者）
雇用 関連		-	-
		-	-

(甲信越)	人材派遣会社（営業担当）	・ボーナス支給が始まる時期だが、地方の中小民間企業では「払えない」という声も聞くため、財布のひもは相変わらず固く、お金を使わないとみている。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・年末に向けて、特に宅配業、サービス業などはパートタイマー、アルバイトの確保をするため、求人誌などに募集広告を掲載する企業が多くなる。
	職業安定所（職員）	・新規求人は、申込み時期の波はあるものの好調を維持している。新規求職は定年到達者で増加した以外は、全体的に減少し、在職者も増加傾向にあったが、今月は減少に転じている。
	職業安定所（職員）	・生産、採用状況が落ち着いているといった声も聞かれるように、受注の大幅増や新たな設備投資等の話はないことから、新規求人数は微増若しくは横ばいが見込まれる。
	職業安定所（職員）	・パートタイマーを含む有効求職者数は、前月より微減である。有効求人数は前月より微増しており、前月から余り変化がない。有効求人倍率は高いレベルにあり、前月より0.02ポイント上昇しているものの、新規求職者の4割以上が在職者で占められており、景気が最高潮とまでは言えず、しばらくやや良い状態で推移していく。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業では、米中貿易摩擦が懸念されているが、今年度については、受注見込みもしっかりしており、心配なさそうである。ただし、次年度は影響が出るだろうと感じている。
	-	-
x	-	-